

# 事業報告

## I 概況

東日本大震災の犠牲者のご冥福をお祈りするとともに、被災者の皆様には謹んでお見舞い申し上げます。ライフラインとしての鉄道の復旧、給電が制限される中での輸送力の確保に全力で取り組まれておられる皆様に敬意を表し心から感謝申し上げます。

当協会は、公益法人改革法により義務付けられている新法人への移行に向け、協会運営の基本になるコンプライアンス、ガバナンスの確立を始めとして、会計制度の変更、定款の変更、公益目的計画の策定など移行認可取得のための諸準備に全力を挙げて取り組みました。そして、この3月22日に移行認可を取得し、予定通り平成23年4月1日から「一般社団法人日本鉄道運転協会」として新しいスタートを切ることになりました。この間の会員の皆様からのご理解、ご協力に対しまして、あらためてお礼申し上げます。

当協会の事業につきましては、引き続き鉄道・軌道運転関係技術基準調査研究会を開催するとともに、事故調、運政審の提言などを踏まえ、事業者自らが有益な情報を提供し共有し合う仕組み作りに取り組み、これを「安全情報委員会」として立ち上げ活動を開始しました。また、国土交通省、会員各社のご協力の下、運転技術空洞化防止のための各種講習会を開催するとともに運転関係従事員の安全サービス意識の向上、業務改善に資するための運転業務研究発表会、運転業務改善委員会なども開催しました。

また、協会の運営基盤となる個人会員および購読数につきましては、関係者の皆様のご尽力により増加傾向を維持するとともに、各種講習会等の参加者もほぼ昨年並みを維持するなど活発な事業活動を行うことができました。

今後とも、会員の皆様のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

## II 会務関係

平成22年4月15日に臨時理事会を、6月16日に第52回通常総会、評議員会、理事会を、12月3日に理事会、支部長会議を開催し、重要事項の決定と協会の活動状況の周知を図った。また、その他の各種会議についても、計画通り実施することが出来た。

### 1 通常総会

平成22年6月16日第52回通常総会を日本交通協会大会議室に於いて開催した。会員数25,726名中、出席者172名、委任状22,518名、合計22,690名（会員総数の88%）にて成立し、次の案件を審議し、それぞれ可決された。

- 第1号議案 平成21年度事業報告並びに決算に関する件
- 第2号議案 平成22年度事業計画並びに収支予算案に関する件
- 第3号議案 理事、監事並びに評議員の選任に関する件
- 第4号議案 評議員の任期に関する件
- 第5号議案 一般社団法人への移行決議に関する件
- 第6号議案 「定款の変更の案」の停止条件付決議に関する件
- 第7号議案 公益目的支出計画に関する件
- 第8号議案 一般社団法人への移行認可申請に関する件
- 第9号議案 常勤理事の年間報酬総額の承認に関する件

### 2 評議員会 日本交通協会会議室

平成22年6月16日12時50分から開催し、次の案件を審議した。

- 第1号議案 平成21年度事業報告並びに決算に関する件
- 第2号議案 理事、監事並びに評議員の選任候補者に関する件

### 3 理事会（3回開催した）

- (1) 臨時理事会 芝弥生会館会議室

平成22年4月15日11時から開催し、次の案件を審議した。

- 第1号議案 第52回通常総会招集の件
- 第2号議案 第52回通常総会附議議案に関する件
- 第3号議案 最初の代表理事について停止条件付候補者の選定に関する件
- 第4号議案 「定款の変更の案」に伴う関連規程等の停止条件付決議に関する件

(2) 第1回理事会 日本交通協会会議室

平成22年6月16日12時50分から開催し、次の案件を審議した。

- 第1号議案 平成21年度事業報告並びに決算に関する件
- 第2号議案 理事、監事並びに評議員の選任候補者に関する件

(3) 第2回理事会 日本交通協会会議室

平成22年6月16日14時30分から開催し、次の案件を審議した。

- 第1号議案 理事選任に伴う常任理事の選任に関する件
- 第2号議案 常任理事の任期に関する件

(4) 第3回理事会 芝弥生会館会議室

平成22年12月3日16時から開催し、次の案件を審議した。

- 第1号議案 平成22年度運転功労者及び協会功績者の決定について

(5) 臨時理事会

平成23年3月23日16時から開催を招集し予定していたが、3月11日に発生した「東日本大震災」により、開催不可能となったため、定款34条において準用する第27条第1項に基づき、書面表決を実施し、下記の議案について表決の結果、全理事の賛成を得た。

- 第1号議案 平成23年度事業計画及び予算に関する件
- 第2号議案 第1回社員総会招集の件
- 第3号議案 第1回社員総会附議案件に関する件

4 常任理事会（第262回～第264回）運転協会会議室

(1) 第262回常任理事会 運転協会会議室

平成22年8月19日16時から開催し、次の案件を審議した。

- ・平成22年度運転功労者表彰の支部別割当について
- ・臨時運転情報連絡委員会の設置について
- ・臨時安全情報委員会の設置について

(2) 第263回常任理事会 運転協会会議室

平成22年10月15日16時から開催し、次の案件を審議した。

- ・平成22年度上半期決算報告について
- ・その他

(3) 第264回常任理事会 運転協会会議室

平成23年2月17日16時から開催し、次の案件を審議した。

- ・平成22年度正味財産増減計算書見込について
- ・一般社団法人への移行認可申請後の経過状況及び今後の手続きについて
- ・安全情報委員会の構成委員について

5 支部長会議 芝弥生会館会議室

平成22年12月3日14時30分から開催し、次の案件を審議した。

- ・支部の活性化について
- ・会員増加対策について
- ・一般社団法人に移行することに伴う事務手続きなどについて

6 東記念賞選考委員会 芝弥生会館会議室

平成22年12月3日15時10分から開催し、次の案件を審議した。

- ・東記念賞表彰者の選考について

7 企画委員会（第222回～第227回）

(1) 第222回 大阪弥生会館会議室

平成22年5月13日に開催し、次の案件について報告・審議した。

- ・(仮称) 運転情報連絡委員会の設置
- ・第50回海外鉄道視察団の派遣について
- ・法人法改正に伴い一般社団法人への移行認可申請の状況について
- ・第51回通常総会支部別委任状提出率について
- ・ダイヤ改正の説明

西武鉄道株式会社 野球ダイヤ改正

京浜急行電鉄株式会社 京急蒲田駅付近上り本線及び空港線立体化に伴うダイヤ改正

(2) 第223回 運転協会会議室

平成22年7月8日に開催し、次の案件について報告・審議した。

- ・(仮称) 運転情報連絡委員会の目的、構成等について
- ・動力車操縦者運転免許に関する省令中の視機能について
- ・企画委員新規委嘱について

東日本旅客鉄道株式会社 小埜 委員

西日本旅客鉄道株式会社 森川 委員

相模鉄道株式会社 諸越 委員

- ・その他

(3) 第224回 熊本県「阿蘇グランヴィリオホテル」

平成22年9月16日に開催し、次の案件について報告・審議した。

- ・運転功労者の支部別割り当てについて
- ・東記念賞の推薦依頼について
- ・運転協会功績者褒賞の推薦について
- ・相模鉄道株式会社から保安監査の状況について報告があった。
- ・その他

(4) 第225回 運転協会会議室

平成22年11月11日に開催し、次の案件について報告・審議した

- ・22年度運転業務研究発表会、作品一覧について
- ・副委員長の選出(京成電鉄株式会社 坂齊委員)について
- ・企画委員新規委嘱について
- ・小田急電鉄株式会社 田島 委員
- ・東記念賞候補案件について
- ・近畿日本鉄道株式会社から保安監査の状況について報告があった。
- ・その他

(5) 第226回 運転協会会議室

平成23年1月11日に開催し、次の案件について報告・審議した

- ・平成22年度の東記念賞・運転功労者表彰・運転協会功績者褒章について
- ・運転協会誌優秀作品について
- ・各委員から年末年始の輸送状況、実績について報告があった。
- ・その他。

(6) 第227回 運転協会会議室

平成22年3月10日に開催し、次の案件について報告・審議した

- ・平成23年度事業計画について
- ・京王電鉄株式会社の車内カメラ設置について
- ・その他

8 運転協会誌編集委員会

下記を除き、毎月上旬東京地区において開催し、より一層会員の会誌となるよう内容の充実を図った。

平成22年	6月3～4日	知床
平成22年	9月7日	大阪
平成22年	11月4～5日	沖縄

## 9 運転協会事務担当者打合会議

運転協会誌に対する要望並びに運転協会の事業・支部活動・会員の増加対策、会員名簿の整備、会費徴収事務等について審議し、協力を要請した。

平成22年 6月24日～25日

札幌

平成22年11月25日～26日

沖縄

## 10 新法人移行検討会

運転強協会事務局内に移行検討会を設置し、移行に関わる課題について審議検討し、平成21年7月から準備作業を進め、平成22年11月15日に内閣府へ移行申請手続きを行った。

平成23年2月16日付けで公益認定等委員会から内閣総理大臣あてに認可の基準に適合しているものとして答申がなされた。その後、平成23年3月22日付けで認可書が交付され、平成23年4月1日に東京法務局台東出張所に登記申請を行った。同日付けで「一般社団法人日本鉄道運転協会」に名称変更し、移行した。

## 11 役員及び職員（平成23年3月31日現在）

役 職 名	定 員	実 員
理 事	50名以内	47名
評 議 員	50名以内	45名
監 事	5名以内	4名
職員・嘱託	—	11名

## 12 会員数（平成23年3月 1日現在）

通常会員（個人）	25,200名
個人特別会員	33名
通常会員（法人）	217社

# III 事業関係

- (1) 図書関係では、平成18年8月発刊の「解説 鉄道に関する技術基準（運転編）」（第四版）に、その後の検討結果等を反映した（第五版）を発刊した。また、運転協会誌はカラーページの充実を図り、読みやすい内容の編集を行った。
- (2) 受託調査研究は、国土交通省からの委託を受けた「鉄道及び軌道の技術基準の運用状況等に関する実態調査検討」を行った。今年度の自主研究は、「ヒヤリ・ハットの活用」を研究テーマに取り組んだ。
- (3) 教育支援事業は、今年度から中小鉄道事業に対しての国からの助成がなくなったが、協会の単独事業として継続して実施した。
- (4) 講習会は、運転設備研修講座を始め5つの講座を開催し、延べ593名の受講者が参加した。
- (5) 運転業務研究発表会は、31回目を迎え、2日間に渡り25件の研究発表があった。また、聴講者は延べ825名を数え、盛会裡に開催できた。
- (6) 平成22年度で50回目を迎えた海外鉄道視察団は21名の団員で、平成22年9月22日から10月2日までの12日間の日程であったが、ロンドン空港の天候不良により帰国が10月3日となった。公式訪問（ドイツ国鉄、スペイン国鉄）とスペイン国鉄のコントロールセンター及び車両基地視察、国際鉄道技術見本市の見学であった。また、ICE・AVE・TGVの試乗、各国の鉄道関係施設を見学、現況説明等を受け、知識を広げた。
- (7) リスク情報共有化のしくみ作りに取り組み試行段階として、鉄道4社を対象にした共有化活動を開始した。

## 1 運転協会誌発行

第52巻4号から第53巻3号までを発行した。特に協会会員の要望に応えるよう出来るだけ各号を特集化し、資料としても活用できるように配慮した。また、必要により増ページするとともに、オールカラー化を実施、内容の充実を図った。

平成22年	4月号	乗務員養成	特集
〃	5月号	駅業務	特集
〃	6月号	車両基地	特集
〃	7月号	ワンマン運転	特集
〃	8月号	多客輸送	特集
〃	9月号	貨物輸送	特集
〃	10月号	イベント	特集
〃	11月号	空港アクセス	特集
〃	12月号	踏切事故防止	特集
平成23年	1月号	—————	
〃	2月号	業務研究	特集
〃	3月号	東北新幹線新青森延伸開業特集	

## 2 図書

- (1)「解説 鉄道に関する技術基準（運転編）」（第五版）（平成22年1月発行）  
省令及び解釈基準を制定した時点での技術的根拠、事例等をもとに各規定の定められた考え方等についてまとめられたものであり、実施基準の策定、管理、運転の取扱い等に活用が期待される書である。
- (2)「運転理論（再改訂版）」（平成22年8月発行）  
輸送計画における運転理論の役割、基礎項目の解説から運転線図の作成までを最近の鉄道技術の進歩に合わせ、全面的に改訂した詳細解説の専門書である。
- (3)「鉄道のスピードアップ」（平成8年7月第4版発行）  
鉄道のスピードアップの技術は、車両・施設・電気・運転等全般にわたるため、各専門分野の第一人者の方々の協力を得て、体系的にまとめた技術書である。
- (4)「安全のキーポイント」（平成8年1月第6版発行）  
ヒューマンエラー事故の絶滅を念願し、「ヒューマンエラー」にいろいろな角度からメスを入れ、日常の業務に合わせて平易にまとめた本である。
- (5)「動力車操縦者運転免許筆記試験問題集（解答付）」（平成20年3月改訂版発行）  
動力車操縦者の国家試験が実施されるたびに、筆記試験問題を解答付で運転協会誌に掲載して受験者の参考に供しているが、このたび最近の5年間における試験問題とその解答について整理、編集した受験者に対する参考書である。
- (6)「鉄道の運転保安設備（付 輸送計画実務の手引き）」（平成18年9月発行）  
鉄道の運転保安設備に関する基本的な考え方や、新しいシステム・機器の開発を含め、輸送・運転・設備関係者の実務・教習用としてまとめた関係者の待望の技術書である。
- (7)「重大運転事故記録・資料（復刻版）追補昭和62年4月～平成20年3月」  
（平成20年12月発行）  
鉄道有史以来平成19年3月までの旧日本国有鉄道及び地方鉄道・軌道における重大事故記録をまとめたもので、鉄道の安全に携わる方々に「温故知新」版として活用が期待される。

## 3 受託調査研究

- (1)『平成22年度鉄道及び軌道の技術基準の運用状況等に関する実態調査検討（運転関係）』  
（国土交通省委託）  
鉄道の技術基準については、平成14年3月に技術基準省令が性能規定化されて以来、国土交通省から、この省令等の運転関係における見直しを図るための調査検討を委託されている。平成21年度は、主に鉄道事業者からの要望事項について調査検討を行った。  
軌道の技術基準については、平成14年12月に国土交通省において、今後の新しい軌道交通システムのあり方について幅広く検討し、基準等への反映を目的として、「軌道に係る基準等のあり方に関する検討委員会」が設置されて以来、国土交通省から、現行基準の決定の経緯や事業者の要望を含めた実態の調査等を委託され、平成21年度は現行基準を性能規定化することの実行可能性について、調査検討を行った。  
以上の検討結果は鉄道及び軌道の報告書をそれぞれ国土交通省に提出した。

#### 4 自主研究

平成22年度の研究テーマについては、JR関係7社・公営5社・大手民鉄16社、中小民鉄1社から研究テーマの参画各社から15件の提案があり、検討した結果「乗務員の教育・指導の方法と知識・技能の確認について」を次期テーマとして決定した。近年の安全監理規程で「乗務員等の資格要件の管理」に基づきその作業を行うのに必要な適性、知識及び技能の確認や教育、訓練の効果把握を研究して事故の対応や教育についての効果の検証方法を研究し活用への考察を行っていく。

#### 5 講習会等

##### (1) 第15回運転設備研修講座

- ・施行日 平成22年7月5日～7日
- ・会場 芝弥生会館 会議室
- ・受講者 73名
- ・講師 (順不同・敬称略)  
国土交通省鉄道局技術企画課 電気基準係長 森田 基裕氏  
(社)日本鉄道運転協会 顧問 石井 信邦氏  
元(社)海外鉄道技術協力協会 部長 吉武 勇氏  
JR東日本コンサルタンツ(株) 海外事業部長 武藤 嘉一氏

##### (2) 第16回運転法規研修講座

- ・施行日 平成22年9月13日～15日
- ・会場 芝弥生会館 会議室
- ・受講者 101名
- ・講師 (順不同・敬称略)  
国土交通省鉄道局技術企画課 運転基準係長 福岡 寿章氏  
(社)日本鉄道運転協会 顧問 石井 信邦氏  
(社)日本鉄道運転協会 顧問 中西 昭夫氏  
(社)日本鉄道運転協会 技術部長 中谷 克利氏

##### (3) 第15回運転理論(運転曲線)講習会

- ・施行日 平成22年 8月24日～27日
- ・会場 芝弥生会館 会議室、
- ・受講者 53名(前期、後期の計)
- ・講師 (順不同・敬称略)  
元(社)日本鉄道運転協会 技術部長 渡部 眞一氏  
(財)鉄道総合技術研究所運転システム研究室 主任研究員 山下 修氏

##### (4) 第45回運転関係指導者講習会

- ・施行日 前期 平成22年10月4日～6日  
後期 平成22年10月20日～22日
- ・会場 芝・弥生会館 会議室
- ・受講者 263名(前期・後期計)
- ・講師 (順不同・敬称略)  
国土交通省 鉄道局 安全監理官 中桐 宏樹氏  
JR東日本健康推進センター 医学適性科部長 笠原 悦夫氏  
現代労務研究所 所長 新井 洋氏  
麗澤大学 名誉教授 丸山 康則氏  
東京地下鉄(株) 常務取締役 栗原 俊明氏  
JEPS 顧問 関口 雅夫氏  
(株)ケイツーマネジメント 代表 葛田 一雄氏  
(株)東京ストレスマネジメント 代表取締役 今井 功氏  
(社)日本鉄道運転協会 顧問 中西 昭夫氏

(5) 第8回輸送技術管理者ゼミナール

- ・施行日 平成23年2月15日～16日
- ・会場 芝弥生会館 会議室、
- ・受講者 54名
- ・講師 (順不同・敬称略)

国土交通省 鉄道局	安全監理官	中桐 宏樹氏
川崎重工業株式会社 鉄道システムプロジェクト部	担当部長	佐藤 公一氏
武蔵野大学 人間関係学部	教授	宇賀神 博氏
九州旅客鉄道株式会社 常務取締役	鉄道事業本部長	青柳 俊彦氏
クレアシオン(株)	代表取締役	関 トキ子氏
東京急行電鉄(株) 経営統括室健康管理センター	所 長	伊藤 克人氏

(6) 第50回海外鉄道視察団派遣

法人会員各社のご協力により、近畿日本鉄道(株)の松田健鉄道事業本部企画統括部運転保安部長を団長とする21名のチームを下記の通り派遣した。

- ア 期間 平成22年9月21日～10月2日(12日間)
- イ 調査項目 ・イノトランス国際鉄道技術専門見本市(ベルリン)
- ・大都市間交通・大都市内交通の試乗視察
  - ・国際間列車の試乗
  - ・車両工場、駅の視察

ウ 公式訪問先

- a イノトランス国際技術専門見本市(ベルリン)  
世界45カ国から2,243社が出展した鉄道技術の最先端の展示会を見学した。
- b ドイツ国鉄(ベルリン)  
事業内容説明並びに質疑応答  
説明者: Mr.Thomas Wilson
- c スペイン国鉄(マドリード)  
事業内容説明並びに質疑応答  
説明者: Mr.Adolfo Sanchez Moron(RENFE:International Director)  
Mr.Jose ESpada Rodelgo(OPERATION CENTRE)
- d 第50回海外鉄道視察団名簿(附属明細書附-1参照)

6 第31回運転業務研究発表会

- ・実施日 平成22年11月18日・19日
- ・会場 芝弥生会館
- ・聴講者 延 825名
- ・発表者と発表テーマ 25件(平成22年度までの発表件数が629件)
- ・発表者と表彰結果(附属明細書附-2参照)

7 創立記念式典・表彰

平成23年1月28日創立52周年記念式典を飯田橋ホテルメトロポリタンエドモントにおいて挙行し、東記念賞、運転功労者表彰、運転協会誌優秀作品賞及び協会功績者褒賞の表彰を行った。(運転功労者賞、運転協会誌優秀作品賞、協会功績者褒賞は附属明細書附-3-1、3-2参照)

(1) 東記念賞

件 名	受賞者
阪神なんば線開業に伴う阪神電気鉄道・近畿日本鉄道の相互直通運転について	阪神電気鉄道株式会社 近畿日本鉄道株式会社

- (2) 運転功労者賞：鉄道の運転業務に顕著な功績があつて支部長から推薦された輸送管理者25名で、累計では22年度までに868名を数えている。

(3) 運転協会誌優秀作品賞：運転協会誌に特に優秀と認められた作品を執筆した人から優秀論文賞7名、優秀エッセイ賞3名が受賞した。

(4) 協会功績者褒賞：運転協会の発展に特に貢献された人で2名が褒賞された。

(5) 運転協会誌表紙写真コンテスト

平成23年度用運転協会誌表紙写真コンテスト(応募作品433点)は、平成23年3月3日の審査で入選作品を決定し、表彰した。

特選	石山を登る	東京急行電鉄(株)	齋藤 直氏
1等	500系東海道の姿	名古屋市交通局	川松 龍二氏
	浦佐駅で抑止	東京急行電鉄(株)	近内 寿勝氏
	冬の陽射しを浴びながら	阪急電鉄(株)	加藤 敏幸氏
2等	6点		
佳作	10点		

## 8 講演会・研究発表会

(1) 平成22年 6月16日 第52回通常総会終了後開催

・講演「日本の鉄道運営のどこが優れているか～我が国の鉄道技術の海外進出に際して～」  
講師：博士(工学)工学院大学工学部教授 高木 亮氏

(2) 平成22年 6月30日 九州支部総会終了後開催

・運転業務研究発表報告会

「エラープルーフ化の手法」による「終着駅での扉切替時における扉事故防止への取り組み」  
西日本鉄道株式会社 運輸車両部 柳川乗務所

・講演「おもてなしの心に満ちた国際集客文化都市をめざして」

福岡市経済振興局 集客交流部 誘致宣伝課長 豊福 泰史氏

(3) 平成22年 7月23日 関西支部総会前開催

・運転業務研究発表報告会

「弱点克服プロジェクト～「安心鉄道」に向けて」

南海電鉄(株) 運輸部 新今宮駅 山田 光二氏 他2名

「清掃グッズ「エコ茶」の考案について」

阪急電鉄(株) 京都線運転係 安東 和典氏 他2名

「会社No.1 ECO電車区への道」

西日本旅客鉄道(株) 明石電車区 福田 真也氏 他2名

(4) 平成22年 7月 9日 中部支部総会終了後開催

・講演「最新の中国鉄道事情」

工学院大学・北京交通大学 客員教授 曾根 悟氏

(5) 平成22年10月26日 北海道支部総会終了後開催

・講演「駅や車両のサインにおける色の効果」

カラーコーディネーター&プランナー 外崎 由香氏

(6) 平成22年10月28日 新潟支部総会終了後開催

・講演「法人改革とその移行について」

(社)日本鉄道運転協会 専務理事 東海林 保氏

(7) 平成22年11月26日 広島支部総会終了後

・運転業務研究発表会

「車両故障発生時の的確な判断と迅速な初期対処に向けて」

西日本旅客鉄道(株) 広島支社 広島運転所

(8) 平成22年12月 2日 四国支部総会終了後開催

・講演「しなの鉄道の取り組みについて」代表取締役社長 浅海 猛氏

## 9 見学・試乗会

・関西支部関係

平成22年 6月18日 近畿日本鉄道(株)

新型特急車両「16660系 Ace(エース)」大阪阿倍野橋～橿原神宮前間（往復）

平成22年10月16日 西日本旅客鉄道（株）

新型特急車両「はまかぜ（キハ189系）」大阪～大久保間（往復）

平成22年10月27日 西日本旅客鉄道（株）

山陽・九州新幹線直通車両「N700系8両編成」

・東北支部関係

平成22年 5月13日 東日本旅客鉄道（株）新青森駅見学

・九州支部関係

平成23年 2月24日 九州旅客鉄道（株）

山陽・九州新幹線直通車両「N700系8両編成」

10 支部活動

- |           |             |                    |
|-----------|-------------|--------------------|
| (1) 北海道支部 | 平成22年10月21日 | 会計監査               |
|           | 平成22年10月26日 | 通常総会・情報交換会         |
|           | 平成22年10月26日 | 講演会（前頁掲載）          |
| (2) 東北支部  | 平成22年 9月10日 | 会計監査               |
|           | 平成22年10月 4日 | 通常総会・情報交換会         |
| (3) 新潟支部  | 平成22年10月22日 | 会計監査               |
|           | 平成22年10月28日 | 通常総会・情報交換会         |
|           | 平成22年10月28日 | 講演会（前頁掲載）          |
| (4) 中部支部  | 平成22年 5月13日 | 静岡地区担当者会議          |
|           | 平成22年 5月13日 | 名古屋地区担当者会議         |
|           | 平成22年 6月15日 | 会計監査               |
|           | 平成22年 7月 9日 | 評議員会               |
|           | 平成22年 7月 9日 | 通常総会・情報交換会         |
|           | 平成22年 7月 9日 | 講演会（前頁掲載）          |
| (5) 関西支部  | 平成22年 6月18日 | 見学試乗会（前頁掲載）        |
|           | 平成22年 5月19日 | 会計監査               |
|           | 平成22年 7月 5日 | 幹事会                |
|           | 平成22年 7月23日 | 運転業務研究発表報告会（前頁掲載）  |
|           | 平成22年 7月23日 | 通常総会・情報交換会         |
| (6) 広島支部  | 平成22年 5月25日 | 意見交換会              |
|           | 平成22年11月26日 | 通常総会・情報交換会         |
|           | 平成22年11月26日 | 運転業務研究発表報告会（前頁掲載）  |
| (7) 四国支部  | 平成22年11月19日 | 会計監査               |
|           | 平成22年12月 2日 | 通常総会・情報交換会         |
|           | 平成22年12月 2日 | 講演会（前頁掲載）          |
| (8) 九州支部  | 平成22年 5月12日 | 会計監査               |
|           | 平成22年 5月21日 | 評議員会               |
|           | 平成22年 6月30日 | 役員会                |
|           | 平成22年 6月30日 | 通常総会・情報交換会         |
|           | 平成22年 6月30日 | 運転業務研究発表報告会（前々頁掲載） |
|           | 平成22年 6月30日 | 講演会（前頁掲載）          |
| (9) 関東部会  | 平成22年 9月 3日 | 委員会及び情報交換会         |

## 1.1 一般社団法人への移行認可の経過等について

標題の件については、平成22年6月16日第52回通常総会における「一般社団法人への移行決議」及び「定款の変更の案及び公益目的支出計画等」が承認されたことから、申請書提出の準備を進め、移行認可の取得を目指して慎重に準備を進めてきた。この間の経過及び今後について以下のとおり報告します。

- (1) 平成22年11月15日15時14分、電子申請にて公益認定等委員会へ申請書の届け出を行い、受理された。
- (2) 認可申請受理後、約1ヶ月経過した平成22年12月15日に公益認定等委員会事務局からヒヤリングを受けた。提出書類の修正及びヒヤリング時に種々質問があり、対応し了承された。
- (3) 平成23年2月9日付けで事務局から公益認定等委員会に諮問がなされ、2月16日付けで「認可の基準に適合する」ものとして、内閣総理大臣あてに答申されインターネット上でもその旨が公開された。

また、平成23年3月22日付けで内閣総理大臣から「社団法人日本鉄道運転協会」へ認可書が交付された。

(別紙1 答申書、別紙2 認可書)

- (4) 以下、平成23年度の移行に関する実施事項

ア 平成23年4月1日に、東京法務局台東出張所に「設立の登記」及び「解散の登記」を同時に申請した。

(法務局登記申請日が新法人の設立の登記日となり、現在の特例民法法人は解散の登記日となる。)

イ 移行登記完了後、認定日から起算して30日以内である平成23年4月11日に旧主務官庁（国土交通省）及び行政庁（公益認定等委員会）へ移行登記完了届を提出した。

ウ 今後、「設立の登記」をした日から公益目的支出計画を実施していくために、移行の登記の日の前日を算定日として、3ヶ月以内に設立登記の前日の貸借対照表及びその附属明細表に基づき、公益目的財産額等の確定手続き申請書を行政庁に提出する。

行政庁はその申請した額に誤りがないと認めたときは、その額を新法人の公益目的財産額とする旨を当協会に通知してくる。

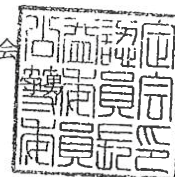
初年度はこの公益目的支出計画に従って運営することになり、その結果を平成23年度末に報告することになる。



府 益 第 8 6 号  
平成23年 2月16日

内閣総理大臣  
菅 直人 殿

公益認定等委員会  
委員長 池田



答申書

平成23年2月9日付け府益担第1427号をもって公益認定等委員会に諮問があった件につき、下記のとおり答申します。

記

上記諮問に係る別紙記載の法人については、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律（平成18年法律第50号）第117条に規定する認可の基準に適合すると認めるのが相当である。

別紙

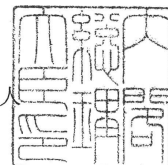
1. 法人コード：A007340
2. 法人の名称：社団法人日本鉄道運転協会
3. 認可を受けた後の法人の名称：一般社団法人日本鉄道運転協会
4. 代表者の氏名：小野 純朗
5. 主たる事務所の所在場所  
東京都台東区東上野一丁目12番2号東上野関東ビル8階
6. 公益目的支出計画の作成の要否：要
7. 旧主務官庁の名称：国土交通省



府益担第2313号  
平成23年 3月22日

社団法人日本鉄道運転協会  
小野 純朗 殿

内閣総理大臣  
菅 直人



認可書

平成22年11月15日付け申請に対し、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律（平成18年法律第50号）第45条の規定に基づき、別紙のとおり  
の一般社団法人として認可する。

別紙

1. 法人コード：A007340
2. 法人の名称：社団法人日本鉄道運転協会
3. 認可を受けた後の法人の名称：一般社団法人日本鉄道運転協会
4. 代表者の氏名：小野 純朗
5. 主たる事務所の所在場所  
東京都台東区東上野一丁目12番2号東上野関東ビル8階
6. 公益目的支出計画の作成の要否：要
7. 旧主務官庁の名称：国土交通省